

2日(火) ～14日(日)	中央図書館 「福田岩緒絵 本原画展」
13日(出)	市民会館ロビー コンサート Vol.12
21日(日) ～23日(火)	第4回福生ハッ ピーパーラウン

市内図書館では2月28日まで、特別展示「ほんのまくら」を開催中。書き出し(まくら)以外、タイトルも作者も分かりません。本との偶然の出会いをお楽しみください。



今号の主な記事

2面 年金だより 3面 入札結果のお知らせ 4面 職員募集 5面 第14回ふっさ環境フェスティバル出展者募集 6面 住宅に関するお知らせ 7面 平成28年度保育園4月入園申込み2次募集を行います 8面 市民会館催し物

郷土資料室特別展示

↑ 炉体土器
↑ 日光橋勸化帳
↑ 人面把手
↑ 製糸ラベル
↑ 片倉シルク号

北田園 2丁目 中央体育館付近 (昭和36年)
↑ 南田園 第三中学校付近 (昭和35～36年ごろ)

※展示物の例

「福生市の成り立ちと人々のあゆみ」

福生の地で生活してきた人々の歴史や、福生という地域があゆんできた様子を、多くの実物資料や写真資料を通して紹介します。

今回の展示では、縄文時代に福生の地で生活していた人々の様子を示す土器などの道具を始め、江戸時代の村の様子を記録した絵図や絵巻、戦後市内で生産されていた片倉自転車の様子などをご覧ください。

【期間】1月30日(土)～4月17日(日)
【時間】午前10時～午後5時
※月曜日は休館日(月曜日が祝日の場合は翌火曜日休館)
【問合せ】郷土資料室 ☎ 530・1120

《特別展示関連事業》

①特別展示記念講演「多摩のエントツのもとで生まれた生糸・飛行機・自転車」—東京オリンピックはシルク号自転車がはばたく—

熊川にあった片倉製糸多摩工場は、戦時期には飛行機の部品を作り、戦後はその技術を活かして自転車生産に転換しました。その会社の社宅に生まれ育った、近代史が専門である講師に、自分史として当時のお話をさせていただきます。

【日時】3月5日(土)午後2時～
【講師】新井勝紘氏(福生市文化財保護審議会副会長、元専修大学教授)

②特別展示関連講座「みずくらいどの謎にせまる」

開削時に2度の失敗伝承を持つ玉川上水。その2回目の失敗があった場所とされている熊川に残る「みずくらいど」について、長年、調査研究を進めてきた講師から解説していただきます。

【日時】3月19日(土)午後2時～
【講師】高崎勇作氏(福生市文化財保護審議会会長)

＜①②共通＞【場所】中央図書館2階

【定員】先着50人

【申込み】2月6日(土)午前10時から電話で郷土資料室 ☎ 530・1120 へ。

※月曜日は休館日(月曜日が祝日の場合は翌火曜日休館)

郷土資料室の講座のお知らせ

①古文書学習会

市内に伝わる江戸時代から明治期の古文書を読み、当時の支配体制や庶民生活を中心とした福生の歴史背景にせまります。

古文書や歴史に興味のある方のご参加をお待ちしています。

【日時】〈第1回〉2月27日(土)

〈第2回〉3月12日(土)ともに午後2時～3時30分

【場所】中央図書館2階会議室

【対象】市内在住・在勤・在学の方

【定員】先着20人

【講師】高崎勇作氏(福生市文化財保護審議会会長)

【申込み】2月6日(土)午前10時から電話で郷土資料室 ☎ 530・1120 へ。

②わくわく土曜日「冬の自然観察会」

文化の森やその周辺で、野鳥や昆虫、植物の観察をします。雨天の場合は資料室での観察会となります。

【日時】2月20日(土)午前9時30分から2時間程度

【集合・解散場所】中央図書館前

【対象】市内在住・在勤・在学の方

【定員】先着20人(未就学児は保護者同伴)

【講師】野村亮氏(福生市文化財保護審議会委員、NPO法人自然環境アカデミー事務局長)

【参加費】保険代100円

【申込み】2月6日(土)午前10時から郷土資料室 ☎ 530・1120 へ電話申込みのうえ、保険代を2月18日(木)までに郷土資料室にお持ちください。雨天の場合でも保険代はお返しできません。

全力投球

福生市長 加藤育男

笑顔のふれあい

新年のあいさつを交わしたのはつい先日と思っていまいたが、あっという間に節分を迎え、春の足音が聞こえるところまで来た感じがいたします。

年末年始、スケジュールに追い立てられる中ですが、追いつきませんが、市民児童委員協議会会長のお誘いで、市内17地区で行われている小地域福祉活動「ふれあいいきいきサロン」のうち数か所にお邪魔してきました。

この活動は、誰もが身近な生活の場で安心して生きがいを持つよう、児童や高齢者など地域の人が自由に入出できる憩いの場づくり、交流の場づくりとして、社会福祉協議会が推進している活動です。ボランティアの皆さんの指導のもと、健康体操や折り紙、手芸、工芸、手作りの食事会等が行われていて、参加されている方の笑顔と真剣な表情が印象に残りました。

わが国が世界で一番の長寿国であることは皆さんご承知のとおりですが、市といたしましては、「健康ふっさ21」で提唱しているように、健康寿命を延伸していつまでもいきいきと元気に活躍していただきたいと考えています。

ぜひ皆さんも、お近くの小地域福祉活動に参加し、温かい交流の場で、新しい仲間や楽しみを見つけてください。